

創る意義を考える” 室津港”

2006~2025



無かったはずの防波堤Ⅱを生み出した、早期完成要望

釣り大会の会場「室津港」は、20年間、早期完成要望がされています。これまでは、「使いながら創る」が目標でした。今後は、「どのように使うか」を考える段階に入ります。

2025.11.08



世界を旅する「高知の文化」



安芸市

岩崎弥太郎生家の構造や



北川村

中岡慎太郎が広めた植林を伐り



四国南東部

室津港背後圏(広域)の



安芸市⇒東京都

地元左官の匠の技による内装で



高知県

高知食を提供するレストランを



高知港⇄世界

緑のあるクルーズ船内に創出

豪華客船(クルーズ船)の一角に高知の木造技術等を、生かした空間を設け、高知を体験するアンテナショップとしてはどうでしょうか？

ブルーインフラの検証

2009~2025



ブルーインフラ:生物共生型港湾構造

釣り大会の背後では、藻場造成の実証実験として、須崎港の事例がパネル展示されていました。室津港内でも産卵床・藻場造成の試行により、一定の成果を保有しています。並べて展示すると、より関心が高まると考えます。

関心を集めるイベント
継続と変化の工夫

室津港釣り大会は6回継続しています。今後、広い世代に関心を持ってもらうためには、作業ヤードも活用した、子供向けのメニュー(タッチプール・磯遊び)等を付加する工夫が望まれます。

室戸岬・室津・岩戸
漁港・港湾・海岸新聞

今回の発行所
みなとまちづくり共同体

資料協力



- 前号迄の主な配布先
- ・漁協(室戸岬・室戸)
 - ・室戸岬漁港周辺常会
 - ・室戸ドルフィンセンター
 - ・海の駅とろむ
 - ・室戸青少年自然の家
 - ・保育園(岬・室津・浮津・元)
 - ・小学校(岬・室戸・元)
 - ・室戸中学校
 - ・室戸高校
 - ・岩戸海岸背後地常会
 - ・みなとまちづくり共同体
 - ・室戸市
 - ・高知工科大学
 - ・安芸市
 - ・芸東森林組合
 - ・元、天然資源回復協議会
 - ・室戸市観光協会